

小学校出前授業の様子

この事業は小学生が、将来高校で学習する内容の一部を高校生から学ぶことにより刺激を受け、学習する楽しさを体験させることがねらいです。同時に高校生は自分が理解したことを伝えることの難しさを知り、学習する楽しさを体験させるためには、どうしたらよいか考えさせる絶好の機会となります。

今年度は7月5日(火)～8日(金)の4日間(午後)三者面談期間中に実施しました。

実施授業 今年度実施したテーマは下記の通りです。



水沢小学校にて

- (ア)理科出前1班 『身近な日用品を使って、ふしぎ実験』60分
内容：「タマゴの不思議」「コーラがソーダに」「金属を燃やして色を楽しもう」
- (イ)理科出前2班 『熱って何?』60分
内容：「鉄粉でつくるカイロ・線香花火」「不思議な過冷却現象」
- (ウ)理科出前3班 内容：「紙のブーメランを飛ばそう」60分
「ノリで作る不思議な物体」60分

授業後の感想

今回の研修が自分たちにとって初めて人前で説明・発表をする機会だった。小学生はとても実験に興味を持ってきてくれたので良かったが、準備不足での失敗が多かったと思う。特に実験の原理を教えられず、小学生の中から疑問の声が聞こえた。自分が理解していることでも、全く内容の知らない人に教えるのは大変だった。この経験を研究発表会で生かせるようにしたい。また、実験の手順を練習したり、話す内容を考えたりしてもっと良い物をつくりたいと思った。



水沢小学校にて



若柳小学校にて

授業後の感想



常盤小学校にて

少ない時間の中で、自分たちの実験を理解するのはとても大変で、小学校でも上手に説明することができなかったのですが、子供達が喜んでくれて良かった。人に実験を教えることの難しさ実感したので、自分の課題研究では、同じ班の人達と頑張っって人に理解してもらえるような分かりやすい説明ができるように、はやくから準備するようにしたい。とても貴重な体験させていただきました。

授業後の感想

今回の出前授業で、小学生と実験などをしてとても楽しかった。普段の理科の授業で先生方が実験の準備を念入りにしていることがとても良く分かった。これから先生に感謝しながら授業を受けたいと思った。今回は、自分たちの準備を始めるのが遅く、あまりしっかりと打ち合わせをしないで、出前授業にのぞんだため、本番は実験だけして、説明しないで終わってしまった。これでは授業とは言わないと思う。これからは、何事もしっかり準備をしてのぞみたいと思った。



常盤小学校にて

授業後の感想



若柳小学校にて

自分はあまり話すのが得意ではないのですが、今回の出前授業では、前に出て積極的に説明することができた。でも順番を間違ったりなど準備不足だったと思う。でも、自分たちでブーメランをたくさん作って実験し、工夫してオリジナルのを作ることができた。小学生にとって少し難しかったけど、私たちがフォローできた。体育館で飛ばしたとき、ものすごく飛んで、昨年より飛んだと聞いたのでとても達成感が生まれた。